



ROCK PAINT

合成樹脂エマルションペイント

031・032ライン

ビニロック®

環境に配慮した水性塗料!!
VOC量は
(社)日本塗料工業会の
目標基準1%以下を
クリア!!

ホルムアルデヒド放散等級

F ☆ ☆ ☆ ☆

居室内で無制限に使用できます。



ロックペイント 株式会社

◆特 長

F☆☆☆☆

- アクリルエマルジョン樹脂をベースとした**内部用**エマルジョンペイントです。
- 塗りやすく、トマリの良いツヤ消しエマルジョンペイントです。
- 塗装方法による色差が非常に小さく、タッチアップ性がすぐれ、ムラなくきれいに仕上がります。
- 耐水性、耐洗浄性などの塗膜性能にすぐれています。
- 耐アルカリ性が良好で、コンクリート、モルタルなどによく付着します。
- 防カビ剤入りのため、カビが生えにくくなっています。
- 国土交通大臣認定 防火材料[NM-8585/不燃材料、QM-9816/準不燃材料、RM-9364/難燃材料、塗料塗装（一社）日本塗料工業会]です。
- （一社）日本塗料工業会の目標水準VOC 1 %以下の低VOC塗料です。

◆被塗物素材

- コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALCなど
(注：素地の種類によって、下地調整が必要になります。)
- 木部、合板類(*) (ただし浴室、台所などの常時水のかかる場所を除く。)

◆製品要項

品 番 ・ 品 名	031-0055 ビニロック 内部用ホワイト
主 な 用 途	戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築物内部壁面
規 格	JIS K 5663 2種
容 量	20kg
標準塗付量(kg/m ² ・回)	0.11~0.13
標準塗布面積(m ² /缶・回)	154~182
希 釈 剤	水
希 釈 割 合(重量)	ハケ・ローラー：10~20% エアレス：15~25%
標 準 塗 装 回 数	2
指触乾燥時間(23℃)	30分
塗り重ね可能時間(23℃)	2時間以上

※調色には、ビニロック原色またはロックトーンカララント7000(ホワイトの10%以内)を使用してください。
 ※031-0055は、開缶して詰め替えをした場合や、缶内調色をした場合は、JIS品としての表示、販売ができませんのでご注意ください。また比較的淡彩色の調色でJIS表示が必要な場合は、その旨をお問い合わせください。
 ※塗装仕様がJIS仕様の場合、下塗り塗料もJIS適合品をご使用ください。
 (*) ベニヤ板などの木製品に塗装する際は、シミなどが浮き出たりする場合がありますので、適切な下地調整を行ってから施工してください。

◆性 能

JIS K 5663 合成樹脂エマルジョンペイント 2種(主として屋内用)

項 目		規 格	試験結果
容 器 の 中 で の 状 態		かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合 格
塗 装 作 業 性		2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	合 格
低 温 安 定 性 (－5℃)		変質してはならない。	合 格
乾 燥 時 間	標準状態	2時間以内	合 格
	5℃	4時間以内	合 格
塗 膜 の 外 観		塗膜の外観が正常であるものとする。	合 格
隠ぺい率%(白及び淡彩)		95以上	合 格
耐 ア ル カ リ 性		18時間浸したとき異常がないものとする。	合 格
耐 洗 浄 性		100回の洗浄に耐えるものとする。	合 格

◆特 長

F☆☆☆☆

- アクリルエマルション樹脂をベースとした**内外部用**エマルションペイントです。
- 塗りやすく、トマリの良いツヤ消しエマルションペイントです。
- 塗装方法による色差が非常に小さく、タッチアップ性がすぐれ、ムラなくきれいに仕上がります。
- 耐候性、耐水性、耐洗浄性などの塗膜性能にすぐれています。
- 耐アルカリ性が良好で、コンクリート、モルタルなどによく付着します。
- 防カビ剤入りのため、浴室、台所などの湿度の高い場所に塗装しても、カビが生えにくくなっています。
- 国土交通大臣認定 防火材料[NM-8585/不燃材料、QM-9816/準不燃材料、RM-9364/難燃材料、塗料塗装（一社）日本塗料工業会]です。

◆被塗物素材

- コンクリート・モルタル・せっこうボード・ALCなど

（注：素地の種類によって、下地調整が必要になります）

- 木部、合板類（*）

◆製品要項

品 番・品 名	032-0100 ビニロック 内外部用ホワイト
規 格	JIS K 5663 1種
主 な 用 途	戸建住宅、集合住宅、商業施設など建築物内外部壁面、台所、浴室の壁面
容 量	20kg・3L
標準塗付量(kg/㎡・回)	0.11～0.13
標準塗布面積(㎡/缶・回)	154～182
希 釈 剤	水
希 釈 割 合(重量)	ハケ・ローラー：10～20% エアレス：15～25%
標 準 塗 装 回 数	2
指触乾燥時間(23℃)	30分
塗り重ね可能時間(23℃)	2時間以上

※調色には、ビニロック原色またはロックトーンカララント7000(ホワイトの10%以内)を使用してください。

※032-0100は、開缶して詰め替えをした場合や、缶内調色をした場合は、JIS品としての表示、販売ができませんのでご注意ください。また比較的淡彩色の調色でJIS表示が必要な場合は、その旨をお問い合わせください。

※調色品は20kgと3kgがあります。※塗装仕様がJIS仕様の場合、下塗り塗料もJIS適合品をご使用ください。

（*）ベニヤ板などの木製品に塗装する際は、シミなどが浮き出たりする場合がありますので、適切な下地調整を行ってから施工してください。

◆性 能

JIS K 5663 合成樹脂エマルションペイント 1種(主として屋外用)

項 目		規 格	試験結果
容 器 の 中 で の 状 態		かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合 格
塗 装 作 業 性		2回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。	合 格
低 温 安 定 性(－5℃)		変質してはならない。	合 格
乾 燥 時 間	標準状態	2時間以内	合 格
	5℃	4時間以内	合 格
塗 膜 の 外 観		塗膜の外観が正常であるものとする。	合 格
隠ぺい率%(白及び淡彩)		93以上	合 格
耐 水 性		96時間浸したとき異常がないものとする。	合 格
耐 ア ル カ リ 性		48時間浸したとき異常がないものとする。	合 格
耐 洗 浄 性		500回の洗浄に耐えるものとする。	合 格
促 進 耐 候 性 (キセノンランプ法)		JIS K 5600-7-7の6 方法1(湿潤サイクルA)240時間照射後、白亜化度の等級は1以下で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格
耐 候 性		12か月の試験で、膨れ、はがれ及び割れがなく、色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。	合 格

◆標準塗装仕様

主として内部のコンクリート、モルタル面

工 程	使 用 塗 料	希釈剤	塗装方法・ 希釈率(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね 可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどをワイヤーブラシ等で除去し、清浄な面にしてください。 新設のコンクリート、モルタル等はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH9.5以下になってから塗装を行ってください。 旧塗膜の浮き、はがれ、白亜化した部分は、皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で完全に除去してください。					
下 塗	033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ (JIS K 5663 規格品)	水	ハケ、ローラー : 0(通常不要) エアレス : 0(通常不要)	1	0.07～0.13	3時間以上
上 塗	031-0055 ビニロック 内部用ホワイト (JIS K 5663 2種 規格品)	水	ハケ、ローラー : 10～20 エアレス : 15～25	2	0.11～0.13	2時間以上

主として外部のコンクリート、モルタル面

工 程	使 用 塗 料	希釈剤	塗装方法・ 希釈率(%)	塗装 回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね 可能時間 (23℃)
素地調整	エフロレッセンス、レイタンス、ゴミ、汚れなどをワイヤーブラシ等で除去し、清浄な面にしてください。 新設のコンクリート、モルタル等はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH9.5以下になってから塗装を行ってください。 旧塗膜の浮き、はがれ、白亜化した部分は、皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で完全に除去してください。					
下 塗	033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ (JIS K 5663 規格品)	水	ハケ、ローラー : 0(通常不要) エアレス : 0(通常不要)	1	0.07～0.13	3時間以上
上 塗	032-0100 ビニロック 内外用ホワイト (JIS K 5663 1種 規格品)	水	ハケ、ローラー : 10～20 エアレス : 15～25	2	0.11～0.13	2時間以上

(注1) 標準塗付量はハケ、ローラー塗りの場合の値で、塗装時のロスを考慮に入れた数値です。また、塗装方法、被塗物の形状、環境などによって増減する場合があります。吸い込みの多い部材については標準塗付量より多くなります。また公共建築工事標準仕様に準拠した施工を行う場合、規定の塗付け量と上記の標準塗付量が異なる塗料については、公共建築工事標準仕様に規定された塗付け量にてご使用ください。

(注2) 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより多少変わります。

シーラーは上記の033-1179 ロックカチオンシーラーマルチⅢ **F☆☆☆☆** 以外に被塗物、素地の状態などにより、以下のシーラーを使用してください。

被 塗 物	品 番	製 品 名	ホルムアルデヒド 放散等級
塗り替え塗装や、せっこうボード、 けい酸カルシウム板など	033-1160	ロックカチオンシーラーマルチ ホワイト	F☆☆☆☆
室内のコンクリート、モルタル、 ビニルクロスなど	033-1701	ビニロックV.O-IIシーラー(室内環境対応型)	F☆☆☆☆
塗り替え塗装や、強アルカリ性の 素地、脆弱な素地〔主に屋外用〕	033-5150 033-5910	ユメロックシーラー(弱溶剤二液型)	F☆☆☆☆

(注) **F☆☆☆☆** 仕様の場合、すべての工程においてホルムアルデヒド放散等級**F☆☆☆☆** の材料を使用します。
F☆☆☆☆ 以外の材料(被塗物、素材も含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、**F☆☆☆☆** 仕様でなくなることがありますので注意してください。

032ライン ビニロック 原色

◆用 途

031、032ライン ビニロックの調色用。(031ライン ビニロック^{バイオ}V.O-II、ビニロック ガードインテリアの調色には使用できません。)

◆製品要項

品 番	色 名	容 量	調色適性			
			淡彩	中彩	濃彩	原色
032-0005	オキサイドレッド	20kg、3L	○	○	○	○
032-0014	レッド	3L	—	○	○	○
032-0017	エロー	20kg、3L	—	—	○	○
032-0022	シアニンググリーン	3L	○	○	—	—
032-0025	ブラック	20kg、3L	○	○	○	○
032-0030	オーカー	20kg、3L	○	○	○	○
032-0032	シアニンブルー	20kg、3L	○	○	—	—

◆施工上の要点・注意事項

- 塗料全体をよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 気温が低いときや湿度が高い場合には、完全な塗膜ができにくく十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目ではできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 作業能率の低下および塗りムラの原因になるため、スプレーノズルの先端は時々洗浄してください。
- ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- ハケ塗りとローラー塗りで仕上げが混在する場合、塗り肌が異なり、色相に差が出やすいので、ハケ塗り部分の希釈をやや少なめに塗装してください。
- 調色には必ずビニロック原色またはロックトーンカララント7000(ホワイトベースの10%以内)を使用してください。
- ヤニの付着が著しく汚れがひどい場合には、中性洗剤を用いてできるだけヤニなどを除去し、十分乾燥させてから塗装してください。
- 色相などにより、水滴などがかかると濡れ色になることがありますので、乾燥すると元に戻ります。
- ヤニ面に塗装する場合は希釈を少なめに1回目を塗装し、十分な乾燥時間(23℃で約6時間)をとってから2回目を塗装してください。
- 水性のしみやアーク面は止まりにくい場合がありますので、水拭きを行い、十分乾燥させた上で塗装してください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- シーリング材の上に塗装する場合、シーリング材の種類、劣化度により付着不良、収縮われなどを起こしたり、表面が汚れたりすることがあります。状況によっては、シーリング材用プライマー「ロックノンタックプライマーS」を塗装してください。塗膜の汚染・剥離・はがれ・割れの低減が図れますが、シーリング材の種類によっては汚れ・付着不良が発生する場合がありますので試し塗りすることをお奨めします。なお、ノンブリードタイプのシーリング材に「ロックノンタックプライマーS」は塗装しないで行ってください。
- エマルションパテの外部での使用は避けてください。
- 外部の塗装について、塗料臭気が室内に入らないように換気装置などを停止し、開口部などの養生を行ってください。
- 塗装面の取り扱い等で可塑剤が多く含まれる建材(塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなど)への直接の塗装は塗膜が軟化することがあり避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、その他の断熱性が付与された建材など)を使用した高断熱型住居の外装を塗装する場合、状況により蓄熱、水分、素地、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、素地の変形、塗膜のふくれ、はがれなどが発生する場合があります。詳しくは最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 笠木、天端など長時間水の滞留する箇所では塗膜の白化、ふくれなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 繊維質の壁や耐火被覆されているような表面が脆弱した被塗物には塗装できません。
- 乾燥後、頻繁に手などが触れる扉や手すりなどでは、塗膜表面がしだいに軟化するおそれがあります。状況により手などが触れにくくするようプレートなどを設置してください。
- 室内で水のかかる箇所に合成樹脂エマルションパテを使用しないでください。セメントフィラーをお奨めしますが、エフロレッセンスが発生する場合がありますので、養生期間は十分に取ってください。
- せっこうボードなどに軽度の素穴や段差、びびり割れがある場合は、合成樹脂エマルションパテで処理してください。
- 内部の塗り替えで旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- けい酸カルシウム板へ塗装する場合は、種類、劣化の度合いによっては付着不良を起こす場合がありますので、試し塗りすることをお奨めします。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率10%以下、pH9.5以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 屋外セメント系素地に段差・巣穴などがある場合は、セメントフィラーを用いて不陸調整を行ってください。
- 吸い込みの著しい部材については、標準塗付量より多くなる場合があります。
- シーラー塗装は「ぬれ感が出るまで」を目安に塗装してください。
- シーラー塗装後、塗装仕様の塗り重ね可能時間よりも早く上塗り塗装を行うと、ちぢみ、ひび割れ、塗膜不良を起こすおそれがありますので、塗り重ね可能時間は守ってください。
- 下塗り乾燥後、素地との付着性をガムテープなどで確認し、はがれが認められる場合は再度下塗り塗装を実施してください。
- カチオン系シーラーと上塗り塗料を混合するとゲル化して使用できなくなります。また塗装用具を共用することも避けてください。
- カチオン系シーラーのさび缶などはプラスチック容器を使用してください。金属類は錆が発生するおそれがあります。
- 木の材質、下地の状況によっては割れ、はがれが生じることがありますので、事前に試し塗りを実施し、確認してください。
- 木部塗装で釘頭には、サビ止め塗料(サビカットII)を塗装してください。釘頭が錆びている場合は、サンドペーパーを用いて錆びを除去してからサビカットIIを塗装してください。
- 新設の木部の場合は、含水率15%以下で行ってください。また節止めは必ずセラックスを塗装してください。
- カウンター、テーブル、いす、棚、床等への塗装は避けてください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。
- 乾燥した塗膜に付着した汚れはシンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。
- 塗装後24時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- 水のかかる場所は塗装後換気を良くし、24時間以上(23℃の場合)乾かしてからご使用ください。(常時水のかかる場所には塗装できません。)
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお奨めします。
- 下地、旧塗膜が脆弱な場合、また素材が強アルカリ性であることが予想できる場合は、弱溶剤型のシーラーを使用してください。
- 改修塗装で弱溶剤型のシーラーを使用した場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤の影響により、ふくれ、ちぢみなどが発生することがありますので、試し塗りしたうえで本塗装を行ってください。
- 旧塗膜が弾性系の塗膜(弾性リシン、弾性スタッコ)やアクリル樹脂エナメルなどの場合、すでにふくれが発生していることがあります。そのまま塗装するとふくれが拡大することがありますので、ふくれ箇所は完全に除去してください。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスや考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 塗り重ね可能時間(乾燥時間)は塗装現場の温度、湿度、風通し、素地の状態などにより、多少変わります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- この塗料はホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆タイプです。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなく完全除去してください。
- 上塗りに鮮やかなエロー系、レッド系、ブルー系、グリーン系の塗色で仕上げる場合、塗膜の隠ぺい性が弱い傾向にあるため、先に隠蔽性のよい共色(近似色)で下塗りした後、上塗り塗装してください。
- 防カビ効果は繁殖を抑制するため、既に発生している被塗面には殺菌処理した後、塗装してください。
- 旧塗膜がつや有り仕上げの場合、条件により塗装に適さない場合がありますので、あらかじめ試し塗りをしてから施工してください。弾性系塗膜の塗り替えには使用できません。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上および取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。

【救急処置】

- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけはやく医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 塗装中、乾燥中ともに換気を良くしてください。
- 取扱中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて保護手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
- 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。

【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
 - 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。
- 安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。

ロックペイント 株式会社

東京営業部／〒136-0076／東京都江東区南砂2丁目37番2号 TEL (03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部／〒555-0033／大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号 TEL (06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
札幌営業所／〒003-0011／札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 TEL (011)812-2761 FAX (011)812-9304
仙台営業所／〒983-0044／仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号渡正ビル201 TEL (022)349-8677 FAX (022)283-3255
西関東営業所／〒252-0131／神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 TEL (042)700-3111 FAX (042)700-3112
名古屋営業所／〒454-0059／名古屋市中川区福川町1丁目1番地 TEL (052)351-6500 FAX (052)361-7433
岡山営業所／〒701-1134／岡山市北区三和1000番34 TEL (086)294-1201 FAX (086)294-6966
福岡営業所／〒811-0119／福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 TEL (092)962-0661 FAX (092)963-1241

ロックペイントのインターネットホームページ <https://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店：